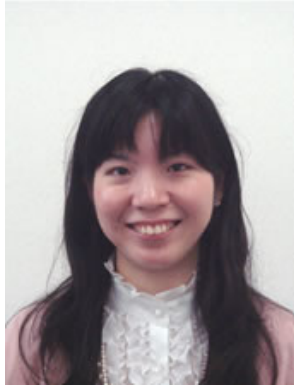


相談員コラム

先生 = 仲間 ≠ 友達



福岡県家庭教師ネットワーク
福岡事務局
教務アドバイザー
吉住 那奈瀬

「時間がなくて…」
「体調が優れなくて…」

これらの言葉は、指導にあたっている中でよく耳にする言葉です。「時間がなくて宿題が終わらなかった」、「単語を覚える時間がない」、「体調が悪くて試験に集中できなかった」…

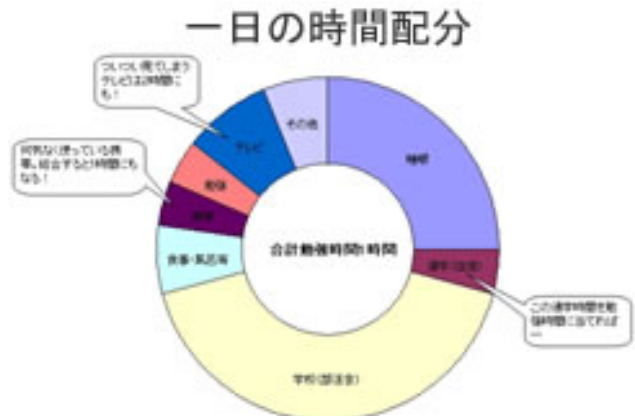
みなさんも、一度は思ったことがあるのではないのでしょうか？

確かに、部活をしていたり習い事をしていたり、高校生になれば毎日補習授業があつたり…これでは、いつ自分の勉強をするの？と嘆きたくなるのも分かります。そんな忙しい毎日に追われ、体調を崩してしまつてはなおさら勉強時間の確保は難しいでしょう。

しかし、敢えて言ひましょう。

これらは、ほとんどの場合言い訳です。

時間は、あつたりなかつたりするものではなく、作り出すものなのです。忙しいのは皆同じ。与えられた時間も皆同じ。その中でやりくりして勉強時間を確保していくしかないのです。たとえば、定番ですが通学時間や習い事での移動時間。また、携帯を触っている時間。一日にどれだけあるか測ったことがありますか？目的のプリントが見つからず部屋中探し回る…実はこのようなことも、無駄な時間を作っている要因です。ひとつひとつはほんの数分でしょう。しかし、その数分で目的地に着くことができ、友達にメールを送ることができ、探し物を見つける事ができるのです。英単語1つ、古文単語1つ覚えるのにじゅうぶんな時間だと思いませんか。毎日の小さな時間を積み重ねることで、1ヶ月数時間の勉強時間が確保できるのです。



「時間がない」と嘆いているあなた、本当に、無駄に過ごしている時間が少しもないのでしょうか。ぜひ一度、生活を見直してみてください。

何が言いたいのかというと、『全力で目標に向かっていく』ということです。「時間がない」、「試験範囲が広すぎる」と嘆く前に、今取り組んでいる勉強時間・勉強法が本当に精一杯なのか、考えてみてほしいのです。「自分はいくら以上はないくらいやっている」と思いますか？自信を持って言える人は少ないのではないのでしょうか。与えられた時間が皆同じであるように、頑張る力も同じように皆持っているはずなのです。

全力で何かに取り組むということは、怖く、難しいことです。そのぶん、全力疾走した後の爽快感は、全力で走った人にしか得られないものです。これは、部活動をしている人や習い事をしている人は想像しやすいと思います。部活動や習い事だって、毎日の練習が不可欠で、決して易しいことではないのに、気が付いたら懸命に取り組んでいませんか？私は、ぜひ皆さんに勉強でもこの「やりきった！」という自信を身に付けてほしいと思っています。

部活動や習い事と、勉強の違いは何でしょうか。どちらにも、大きな目標があります。日々の積み重ねが大事な点も同じ。そして、その積み重ねが辛いことも同じです。大きな違いは、仲間や先生の実存でしょう。辛い日々を一緒に励ましあい、乗り越えていける仲間が周りにいること。毎日の練習メニューを事細かに指示してくれ、練習の様子を見てくれる顧問の先生やコーチがいること。これは、とても心強いことです。投げ出しそうになっても、仲間がいつも側にいて、先輩や先生が自身の経験から適切なアドバイスをくれ、励ましてくれれば、また頑張ることができる。そうして乗り越えてきた経験のある人もいるのではないのでしょうか。それに比べると、日々の勉強のなんと心細いことでしょうか。壁にぶつかったとき、投げ出しそうになったとき…、誰がすぐに手を差し伸べてくれるでしょうか。この違いが、なかなか勉強に全力を出せず、「時間がない」と感じてしまうことに繋がっているのではないのでしょうか。

そんな孤独な戦いの手助けをするのが、私たち家庭教師です。毎日に必要なメニューを指示し、壁にぶつかったとき、側にいて支えることができる…私たち家庭教師は、先生であり、先輩であり、仲間でもあるのです。

繰り返します。私は、皆さんに自信を持って「これ以上ないくらいに頑張った」と言えるような経験を勉強でもしてほしいと思っています。それは、必ず皆さんの財産になります。

